

本社機能、一部を移転

ダイワコーポ

施設管理部と役員室

ダイワコーポレーション
(曽根和光社長、東京都品川区)は1日、本社機能の一部を自社が保有する「大



フリーアドレス制を採用した施設管理部のオフィス

森レインボービル」(同区)に移転し、業務を開始した。本社から徒歩1分の位置にある同ビル9階に、ビル管理担当部署である管理本部施設管理部のオフィスを移すとともに、役員室を新設。

同部署は設備管理や修繕工事対応が主な業務のため外出が多く、オフィス内で従業員同士がコミュニケーションを取ることが生産性の向上になると考え、一般的な対抗島型のレイアウトでフリーアドレス制を採用した。

向かい合ったデスクでも自分の業務に集中できるよう、また環境を変えられることで新しい発想が生まれるといった効果を期待し、高さやデザインの異なるデスクを導入。目に入る位置に植物を置くなど景色の変化も意識した。

また、施設管理部に隣接する役員室は、「重厚感とシック」がコンセプトの内装となっており、オンライン会議用に75型大型モニターを設置し、カメラも常設している。(吉田英行)